およびその意義について周知を者などの関係者に休養日の設定

き続きその徹底を図るととも 部活動の休養日については、引 と確保するという観点からも、

、生徒、

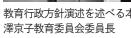
保護者および外部指導

④系統的な「平泉学」学習

と考えております。

は、「平泉の文化遺産」の世界遺町内の幼稚園、小・中学校で

# はじめ



教育行政方針演述を述べる本

すようお願い申し上げます。 本大震災発災から7年

育にお 切らず させられる日々が続いています。 ためて自然との向き合い方を考え の間、大規模な風水害が引きも 世界文化遺産の地、平泉の教 いては、先人が紡 人々の暮らしを襲い、あら いでき

学び、今を見つめ、未来に広げる 育における系統立てた、「過去にれてきた平泉学学習は、学校教

述べ、ご理解とご協力を賜りま 行政施策について所信の一端を 議会定例会3月会議が開催さ本日、ここに平成30年平泉 るにあたり、平成30年度の教育 泉町

少なくなってきていますが、こ時が流れ、あの日を語ることも

確かなものにしていくことこそ能な社会づくりのための学びをた歴史を踏まえ、平和で持続可 重要と考えます。 本町教育の軸として取り組ま

子どもたちの多様な個性と能力を伸ばし社会を担う

人材育成と、世代を超えて学び続けるまちづくりを

着実に推進し、さらなる町教育の発展を目指す

てきています。 一方、全国的に少子高齢化、人

まれ、子どもたちのなかでも心らしも情報化社会の波に巻き込口減少が進むなか、地域での暮

ります。 命に関わる問題が深刻化しておを通わせ、語り合う場をもてず、 そうした現状を踏まえて、

の連携のもと、子どもたちの多に基づき、学校・家庭・地域・行政町においては「平泉町教育大綱」 推進し、さらなる町教育の発展 学び続けるまちづくりを着実に 担う人材育成と、世代を超えて 様な個性と能力を伸ばし社会を を目指してまいります

「確か 」「健やかな体(体)」のバラ傩かな学び(知)」「豊かな心



いります。 目指した授業改善を推進してま 思考力、判断力、表現力の育成を

 $\mathcal{O}$ 

理 統

合

ってよりよく生きる心など

大切に思う心や、他者と支え

育むことを目

指してまい

り

児童生徒一人一人に豊かな心を

②豊かな心の育成

心の教育にお

いては、自

他

ります。 教員研修を実施することによ 性、発展性をふまえた授業交流、 やかな学習指導を推進してま り、長期的な視点による、きめ細 解に基づき、教科における系 また児童生徒一

11

中への外国語指導助手(ALT)の英語検定全額補助や、幼保小けることができるよう、中学生ル社会に必要な英語力を身に付 して、年間授業時数や学習内容ズに移行するための準備期間と面実施を控え、今年度はスムー年度からの小学校外国語活動全 能力の向上を目指し、グローバます。また、コミュニケーション 課程を編成することとしており を全面実施に近付けた形で教育 英語教育の充実では 配置を継続してま りま 、 平 成 32

 $\mathcal{O}$ 

めてまいります。

また、これまで小学校5年

じめの早期発見、早期解消に努どもの信頼関係を大切にし、い

組むとともに、教師、保護者、 全体が組織的かつ計画的に取り い」という共通認識のもと、学校 づき、「いじめは絶対に許され は、「いじめ防止基本方針」に基

子

となるものであり、子どもが は、子どもの「生きる力」の ③健やかな体づくり る取り組みを行ってまいります。 長に寄与することを目的にさら 「健やかな体づくり」について が生

平泉小学校での外国語活動

後も児童生徒の心身の健全な成 室」を中学2年生にも拡大し、 本サッカー協会主催の「夢の を対象に実施しておりました

教 日

な

・フォ

取り組みを進めてまい 人生を心豊かに、生 一きがい り 町 ま へ民 を

平泉の特色ある歴史学習の取 ながら一緒に学ぶ の文化や歴 みを進め 幼稚 2

いります。また、国際人としてのプロジェクト」に取り組んでま 発信事業「『黄金平泉』情報発信 生高学年を対象にした平泉情報 きる人材を育成するため、小学平泉を広く国内外に情報発信で もたちが、平泉の良さを理解 さらに、平泉学 を学 んだ子ど

## 重点施策

てまい

ります。

特にも、

いじめ問題に関して

な

われるよう、取り

組みを推進し

確にし、より効果的な指導が行階ごとに取り組むべき重点を明

中・高学年のそれぞれの発達段 校の学校段階や、小学校の低・ 実態を踏まえ、幼稚園、小・中 す。そのためには、子どもたち

策の概要について申し述べます。以下の教育行政各分野の重点施

ります を重点施策として推進してまい指していくために、以下の4点 泉の子どもとして、「生きる力」 をそなえた児童生徒の育成を目 ンスのとれた教育を展開し、平

平成30年度教育行政方針

た学習内容を活用できるよう、生徒が学習意欲をもち、習得しの習得を目指すとともに、児童は、基礎的・基本的な知識・技能 あたって

「御神楽」を披露する郷土芸能体験講座受講生

の願い、未来の自分、平泉につい関心を高めること、また平和へ るさと・平泉を語り、発信できる て考え、自信と誇りをもってふ を受け継ぐ子どもたちの の歴史的価値を学び、世界遺産 泉学」を展開しております。平泉 産登録後から、世界遺産学習「平 人づくりを目指してまいります。 興味や

夢を持つことの大切さを語る「夢の教室」

値継承に向けた全国各地の優れ 統文化や文化財の 国サミット」を当町で開催し、伝 な刺激を受ける機会を得ました。 生徒とも、お互いに学び合い、大き た取り組みについて、教職員、 今後も平泉学で育てたい子ど 昨年度は「世界遺産学習全 保護保全、価 、児童

行い、活動のゴールを見据えたな地域素材・人材の掘り起しを 習素材・人材の活用に加え、新た 中学校において、これまでの学 系統的な学習を行うこと、それ も像を具現化するため、幼・小

身の健康の保持増進を図ってまことにより、豊かな人間性と心

とができるよう取り組みを行う

しむ資質や能力を身に付けるこ

身の健康の保持増進を図

ります。

また、生徒の休養をしっかり

持ち、生涯にわたって運動に親

生徒が自ら体力や健康に関心を

わ

れております。そのため、児童

な安定と相関関係があるともいや生きるうえでの活力、精神的

ます。体力の向上は、学力

ために必要不可

欠なも

 $\mathcal{O}$ であり 0) 向上

姓にわたって

きと生きる

## 含めた子どもの生活習慣づくり ②情報メディアとの付き合い方を 子どもが規則正しい生活習慣

を身に の生活習慣に大きく関わるゲまいります。また、近年、子ど 早起き運動や食育、家庭学習のた健康な毎日を送るため、早寝 の生活習慣づくりに取り組んで 定着など、家族ぐるみで子ども ます。また、近年、子ども つけ、心身ともに充実し

されることにより、より高い学的、問題解決的な学習活動がなぞれの発達段階に即した探究 びの質を目指してまいります

## 子供の暮ら 育の向上 しと学びを育て

点を重点施策として推進してま り」を取り組みの柱に、以下の3 づくり」、「家庭と地域のつなが ります 「家庭教育の充実」、「生活習慣

## 機会の提供 ①家庭教育の充実のための学習

た子育てに関する講座の開催やを図るため、保護者を対象としけや家族がふれあう時間の充実 行ってまい 家庭教育に関する情報提供 あることから、子どもへの や家族とのふれあいが心豊かな 根幹をなし、また、親子のきず 人格を形成する上で最も重要で 家庭教育は、子どもの成長の ります。 しつ を な

関するルールを決めながら、子の使用に関し、家庭内で使用に どものより良い生活習慣づ に努めてまいります ンなどの情報メディア機器など ム機やパソコン、スマ < ノーテレビデーの様子 n



# ③家庭と地域のつながりづくり

の活発化を図るとともに、地域していくため、地区PTA活動に関わりながら、各家庭を支援に関わりながら、各家庭を支援 力の向上を図ってまいります。るみで子育てを進め、地域教育 内での交流を持ちながら地域ぐ

### 豊かな生きが めの社会教育の充実 いづく が た

て取り組んでまれ、以下の3点を み」「生涯スポー メディアなどに関する取り 「生涯学習活動の充実」「情 の3点を重点施策と ツの振興」を柱 組 報

# ①自主的・自発的な生涯学習の

進めてまいります。
の多様な意見を取り入れながらの多様な意見を取り入れながら  $\mathcal{O}$ 書館から、新たな生涯学習・人 す。また、老朽化した公民館や図 の自主的・自発的な生涯学習 の生涯学習施設を拠点に、 せるよう、公民館や図書館など 感じながら充実した毎日を過ご

てまい 代に応じたプログラムを実践し園・小学校・中学校において各年 間交流を図り ならず、大人や高齢者など幅でまいります。また、子どもの 統立てで学ぶ「平泉学」を、 史、伝統、産業、お祭りなどを系 り組みとして、郷土 「地域学習」への取り組 い世代の町民が子ども達と世 ります。

9 広報ひらいずみ No. 730